

平成 28 年 12 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社ネクスグループ  
代 表 者 名 代表取締役社長 秋山 司  
( J A S D A Q ・ コード 6634 )  
問 合 せ 先  
役 職 ・ 氏 名 代表取締役副社長 石原 直樹  
電 話 03-5766-9870

### 子会社の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社子会社である株式会社 SJI は、同社が平成 28 年 9 月 14 日に開示しました平成 28 年 10 月期の連結および個別業績予想と実績に差異が生じた旨を公表しましたので、添付参考資料のとおりお知らせいたします。

なお、本件が当社の平成 28 年 11 月期連結業績に与える影響につきましては、現在精査中であるため、確定し次第、速やかにお知らせいたします。

以上



平成 28 年 12 月 20 日

各 位

東京都目黒区大橋一丁目5番1号  
株 式 会 社 S J I  
代表取締役社長 牛 雨  
( J A S D A Q : 2 3 1 5 )  
問合せ先:取締役 矢沼 克則  
TEL 03-5657-3000 (代表)

特別利益の計上（連結決算）および業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は平成28年10月期連結決算において、特別利益を計上いたしましたのでお知らせいたします。また、平成28年9月14日に開示しました平成28年10月期の連結および個別業績予想と本日開示の実績について、下記のとおり差異が生じましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 連結決算における特別利益の計上について

平成 28 年 10 月 25 日付「子会社株式の譲渡（子会社の異動）および子会社に対する債権の譲渡に関するお知らせ」にて開示しました子会社の異動に伴い、関係会社株式売却益 182 百万円を特別利益として計上いたしました。

2. 平成 28 年 10 月期連結業績予想と実績値との差異（平成 27 年 11 月 1 日～平成 28 年 10 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,326	314	264	334	1 37
今回発表実績 (B)	5,337	238	131	392	1 61
増減額 (B-A)	11	△76	△133	58	
増減率 (%)	0.2	△24.2	△50.4	17.4	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 10 月期)	4,126	△265	△552	△6,060	△38 99

注 1：平成 27 年 10 月期は決算期変更により、平成 27 年 4 月 1 日から平成 27 年 10 月 31 日までの 7 カ月間となっております。

注 2：今回発表実績の 1 株当たり当期純利益については、期末の期中平均株式数 243,255,816 株に基づいて算出しております。

3. 平成 28 年 10 月期個別業績予想と実績値との差異（平成 27 年 11 月 1 日～平成 28 年 10 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,326	333	299	352	1 45
今回発表実績 (B)	5,337	257	175	238	0 98
増減額 (B-A)	11	△76	△124	△114	
増減率 (%)	0.2	△22.8	△41.5	△32.4	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 10 月期)	4,126	△198	△372	△421	△2 71

注 1：平成 27 年 10 月期は決算期変更により、平成 27 年 4 月 1 日から平成 27 年 10 月 31 日までの 7 ヶ月間となっております。

注 2：今回発表実績の 1 株当たり当期純利益については、期末の期中平均株式数 243,255,816 株に基づいて算出しております。

3. 差異の理由

売上高につきましては、連結・個別ともに、予想値より微増という結果になりました。

営業利益におきましては、販売費および一般管理費の徹底した削減の結果、連結・個別ともに、黒字で着地したものの、滞留していた売掛金の回収が遅れたことにより、平成 28 年 10 月期に引当済みである貸倒引当金繰入額の取崩しが計上されなかったこと等から、予想値を下回る結果となりました。

経常利益におきましても、連結・個別ともに営業利益の伸び悩みが影響し、加えて、上述の滞留していた売掛金の回収が遅れたことによる平成 27 年 10 月期以前に引当済みの貸倒引当金戻入益が計上されなかったこと等により、予想値を下回る結果となりました。なお、為替差損は期中に、為替の上下変動があったものの、結果としては、第 1 四半期時点と概ね変わらず、26 百万円を計上いたしました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、個別においては、上述の営業利益、経常利益の伸び悩みが影響し、予想値を下回ったものの、連結におきましては、1. 連結決算における特別利益の計上についてに記載しましたとおり、平成 28 年 10 月 25 日付「子会社株式の譲渡（子会社の異動）および子会社に対する債権の譲渡に関するお知らせ」にて開示しました子会社の異動に伴い、関係会社株式売却益 182 百万円を特別利益として計上したことにより、予想値を上回る結果となりました。

以 上